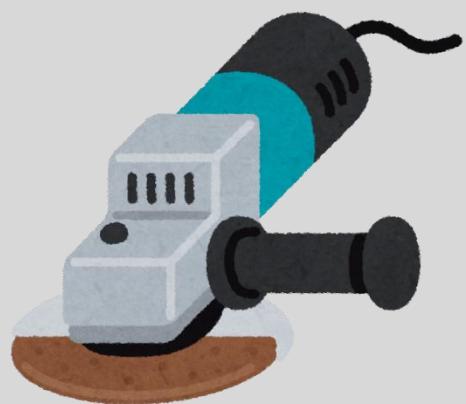


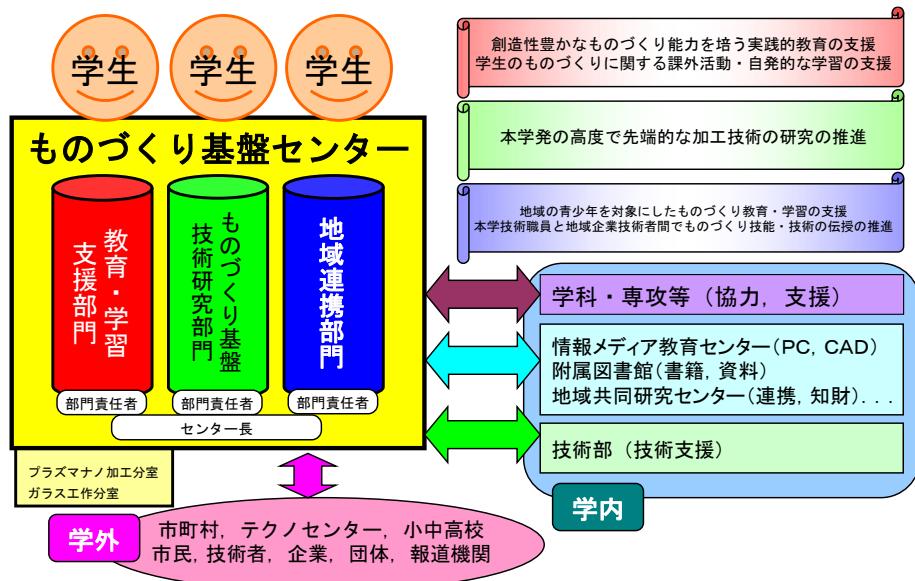
1. センター紹介



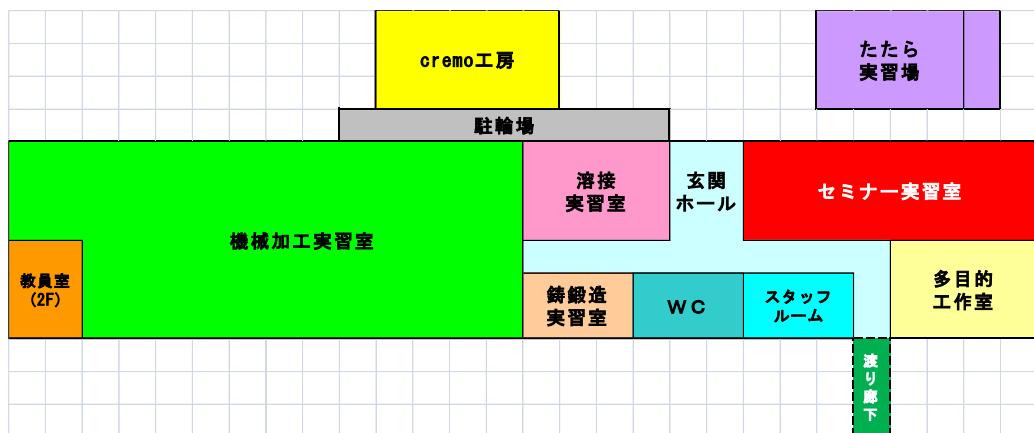
1.1 センター概要

ものづくり基盤センター センター長 清水一道

学内にものづくり教育、創造性教育を実践、体現できる場を生み出すことで、創造性豊かな人材を育成することを目標として、平成17年度に「ものづくり基盤センター設立準備室」を設置して具体的な作業を進め、平成18年1月26日、「ものづくり基盤センター」を設置した。文部科学省平成18年度から22年度 特別教育研究経費（教育改革経費、特別経費）ならびに学内予算措置により、旧実習工場の耐震補強および改修工事、設備機器類の整備更新、センターの運用、各種事業等を進めてきた。組織や施設等の概要、設備や運用内容の一部を以下に示す。



組織の概念図



フロアプラン（本館）の概要

センター設備・機器・システム

センター本館ならびに関連施設として、機械加工実習室（C150）、溶接実習室（C151）、鋳造実習室（C152）、セミナー実習室（C154）、多目的工作室（C155）、エントランス、cremo 工房、たたら実習場、ガラス工作分室（W209）、パーソヨナ（C155 内）を設けており、継続的に整備、運用している。



夜間休日開館

ものづくり基盤センターでは、学生らの課外活動を支援するため夜間開館や休日開館を行っている。今年度の夜間開館においては、前期は減少したものの後期は同数、休日開館は前年度から増加し、より利便性の高い開館活動ができた。

安全向上活動

ものづくり基盤センターでは作業場の安全性ならびに作業者の安全意識を高める活動にも、特に次の点について、積極的かつ継続的に取り組んでいる。施設見学／体験学習におけるリスクマネージメント、実習室での怪我のリスクおよび保護具着用基準、安全確認カメラの運用、ヒヤリハット事例や安全意識喚起掲示、安全講習会の実施とライセンスカードの発行等である。



センター広報活動

ものづくり基盤センターの行事や活動を学内外に伝えるために、様々な取り組みを行っている。学生や教職員に知らせるための掲示板を使った広報活動。センター内各種情報や利用者数グラフの掲示。センターホームページの更新、運用。教職員向けチラシの作成、配布、年数回発行している壁新聞（The cremo wall paper）等がある。以下は年に数回開催しているものづくり教室のポスターである。（今年度は wall paper の発行はなし）



1.2 センター成果

ものづくり基盤センター センター長 清水一道

センターの活動に対する Outcomes の、とりわけ短期間における、厳格な評価は難しい。

これまでの数値等で表れた成果・実績を以下にまとめる。センター活動に対する外部評価あるいは第三者評価とも位置付けられ、Outcomes の判断材料のひとつになり得ると云えよう。なお、これらの成果は、本学学生諸君、学内教職員ならびに地域や卒業生の方々の温かいご理解と献身的なご尽力の賜物である。この場をお借りして、厚くお礼申し上げる。

一受賞・表彰

2008 年度

- ・素形材センター 第 7 回ものづくりコラボレーション センター会長賞
- ・ロボコンプロデュースコンテスト 特別賞
- ・室蘭工業大学 蘭岳賞 2 件

2009 年度

- ・博報児童教育振興会 博報賞
- ・サービス産業生産性協議会 ハイ・サービス日本 300 選
- ・素形材センター ものづくりコラボレーション大賞
- ・室蘭工業大学 蘭岳賞 2 件
- ・森精機製作所 第 6 回切削加工ドリームコンテストアカデミック部門チャレンジ賞
(センター利用作品により)

2010 年度

- ・日本工学協会賞 業績賞
- ・本田宗一郎杯 Honda エコマイレッジチャレンジ 2010 第 30 回全国大会市販車クラス 2 位表彰
- ・室蘭工業大学 蘭岳賞 2 件
- ・2010 年度精密工学会北海道支部学術講演会 優秀プレゼンテーション賞
(センター利用成果の発表により)

2011 年度

- ・本田宗一郎杯 Honda エコマイレッジチャレンジ 2011 第 31 回全国大会市販車クラス優勝
- ・平成 23 年度第十回ものづくりコラボレーション特別奨励賞受賞

2012 年度

- ・本田宗一郎杯 Honda エコマイレッジチャレンジ 2012 第 32 回全国大会市販車クラス 4 位入賞

2013 年度

- ・本田宗一郎杯 Honda エコマイレッジチャレンジ 2013 第 33 回全国大会市販車クラス 3 位入賞

2014 年度

- ・本田宗一郎杯 Honda エコマイレッジチャレンジ 2014 第 34 回全国大会市販車クラス 3 位入賞

2015 年度

- ・本田宗一郎杯 Honda エコマイレッジチャレンジ 2015 第 35 回全国大会市販車クラス 2 位入賞

－センター利用者延べ人数（本学在学生約2,800名）

- ・2006年度4,000名超
 - ・2007年度5,000名超
 - ・2008年度7,000名超
 - ・2009年度7,000名超
 - ・2010年度7,000名超
 - ・2011年度2,500名超
 - ・2012年度8,000名超
 - ・2013年度8,000名超
 - ・2014年度7,000名超
 - ・2015年度5,000名超
 - ・2016年度5,000名超
 - ・2017年度5,000名超
 - ・2018年度4,500名超
 - ・2019年度3,700名超
 - ・2020年度1,200名超
 - ・2021年度1,300名超
 - ・2022年度2,600名超
 - ・2023年度3,300名超
 - ・2024年度3,200名超
-
- ・授業利用：2006年度2,010名，2007年度2,641名，2008年度3,473名，2009年度3,786名
2011年度2,568名，2012年度2,750名，2013年度3,190名，2014年度3,128名
2015年度2,391名，2016年度2,913名，2017年度2,145名，2018年度1,766名
2019年度 792名，2020年度 67名，2021年度 385名，2022年度 690名
2023年度 881名，2024年度 1,045名

 - ・自主利用：2006年度 938名，2007年度 1,810名，2008年度 2,264名，2009年度 2,359名
2011年度 1,715名，2012年度 1,897名，2013年度 2,003名，2014年度 1,861名
2015年度 1,960名，2016年度 2,241名，2017年度 1,513名，2018年度 1,527名
2019年度 1,718名，2020年度 1,025名，2021年度 853名，2022年度 1,359名
2023年度 1,496名，2024年度 1,469名

－市民参加者数：約400名（詳細な人数については地域連携事業一覧参照）